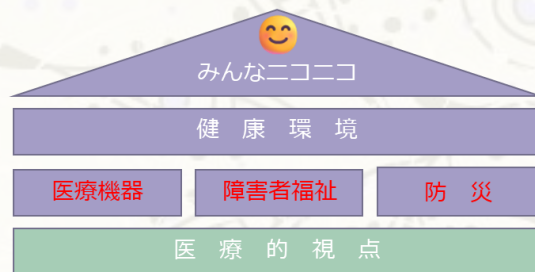


医療ケア児者の防災に特化した在宅医療機器の専門家です

活動

医療的目線で考え、納得がいくまで一緒に考え、親子みんなが笑顔の糸口になるような活動を目指しています。



東日本大震災の経験から生まれた
Bi-Fuel発電機 ELSONA
電気の備蓄で、暮らしを守る
ポータブル電源 ECOFLOW

医療ケア児者の「非常時の電源、何を選べばいいの？」が解決します
非常用電源の個人さま・支援者さま向け、個別相談・勉強会等、承ります
吸引器・吸入器ほか、在宅医療機器のご相談も随時お受けしています

中村政幸のプロフィール

株式会社MAREM 代表取締役
元医療機器メーカーの在宅部門に在籍。
メーカーの在宅部門撤退により退職し、在宅医療機器を取り扱うMAREMを起業。
在宅人工呼吸器などが得意。ケア児者と防災を絆ぐ専門家です。
障害者福祉と防災に特化し、防災講座や衛生講座などを通じて、親子の健康環境作りをサポート。
重度の知的障害をもつ娘を溺愛中の父。

- ★ 防災士
- ★ 管理栄養士
- ★ 高圧ガス第一種販売主任者
- ★ 社会福祉主事任用資格
- ★ (一社)健康応援隊所属 環境レンジャー



〈お問い合わせ先〉 株式会社MAREM
TEL: 052-799-6333
mobile: 080-5297-2580
Mail: dexion.masa0421@gmail.com

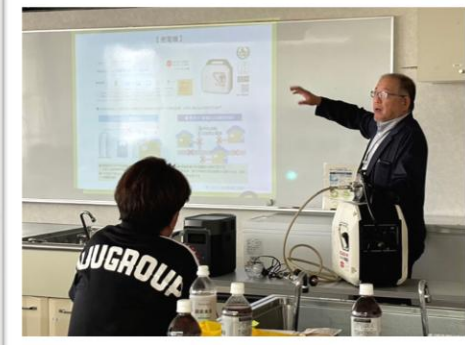
ケアキッズ家族のための
防災講座 (参加費 500円)

6月17日(月)10:00-11:00
会場：やすらぎ会館5階調理室 (神戸市東灘区1丁目3-1)

講座内容

1. 今から備える防災食と水の量
2. 非常時の電源確保の備え

講師 中村政幸 (認定NPO法人 災害時医療支援センター 代表理事) / 講師 高山菜々子 (認定NPO法人 災害時医療支援センター 代表理事)



2024/06/17 瀬戸市 防災講座



2024/12/07 各務原市 市民講座

竹刀

医療的ケア児と住民交流
清須でフェスタ「必要な支援知って」

選手にも広がったという。3年1度の世界選手権では、1回まで3回使われ、今回の選手権では、団体戦の選手権1人が使ったという。「優勝はうれしいが、自分たちはまだ半分の人と、寺本さん、今も腕を上るために自分の工房で竹刀作りに取りかかっている。作りたい人はいれば後進を育てたい」とも話す。

市民団体「清須市障がい児・医療的ケア児を支える会」が初めて企画した。支援が必要なもの災害対策について考えるブースも。参加者は避難所に備えられる設備、ボールゲームを体験し、防災食なども展示された。

会場では、クレールの演奏やマシントーン、消防隊の展示などもあった。子連れでも楽しめる。主催の代表の浅野育子さんは「医療的ケアが必要な子どもたちは、外に出る機会が少ない。イベントを通じて、必要支援について話してもらえた」と話した。(寺田結)

2024/09/18 中日新聞 尾張版 ※1



2025/02/02 重心施設にいろいろのいえ 備えよう福祉×防災×機器展

東海ワイド

医療的ケア児 災害時にどう守る？

名古屋 地域一体で訓練 「個別避難計画」浸透を

紙面の一部変わります

「存在を知ってもらうこと大事」

垣根を越えた連携レポートを

2025/04/01 毎日新聞 東海ワイド ※3

医療機器電源 どう確保

清須 災害に備え 施設職員ら勉強会

人工呼吸器などの医療機器が必要なら歳の娘を育てる、も登壇し「機械を持って移動するのが生息する」といっ。一期は撮影禁止にしてほしい。

必要なら歳の娘を育てる、も登壇し「機械を持って移動するのが生息する」といっ。一期は撮影禁止にしてほしい。

災害時の電源確保について説明する中村さんを一清須市一場の清洲総合福祉センターで

2025/02/06 中日新聞 尾張版 ※2

※1 2024/09/18 中日新聞より
※2 2025/02/06 中日新聞より
※3 2025/04/01 毎日新聞より